

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 25日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒559-0031

住 所 大阪市住之江区南港東3丁目3-76

氏 名 倍信和 代表取締役 澤 育彦

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6612-0371

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

| | |
|--------------------------|-----------------------|
| 事 業 場 の 名 称 | 株式会社 信和 |
| 事 業 場 の 所 在 地 | 千葉県君津市君津1番地 |
| 事 業 の 種 類 | D06－総合工事業 |
| 産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間 | 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで |

産業廃棄物処理計画における目標値

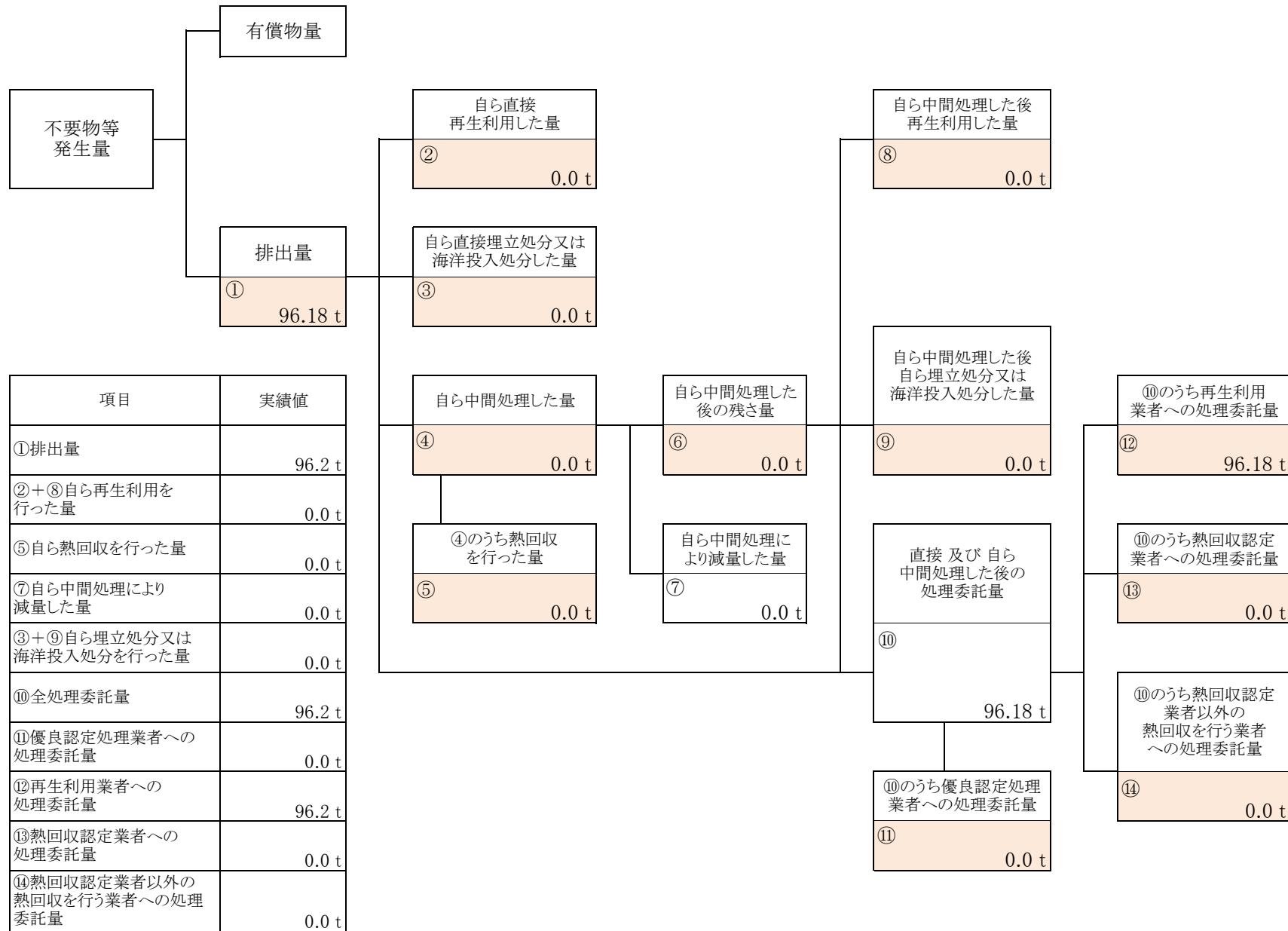
| 項目 | 目標値 | 項目 | 目標値 |
|---|-----------|---|-----------|
| 排 出 量 | 7990.24 t | 全 処 理 委 託 量 | 560.23 t |
| 自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量 | 0.0 t | 優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量 | 464.03 t |
| 自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量 | 0.0 t | 再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量 | 6965.98 t |
| 自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量 | 0.0 t | 認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量 | 0.0 t |
| 自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 入 处 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量 | 0.0 t | 認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量 | 0.0 t |
| ※事務処理欄 | | | |

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)

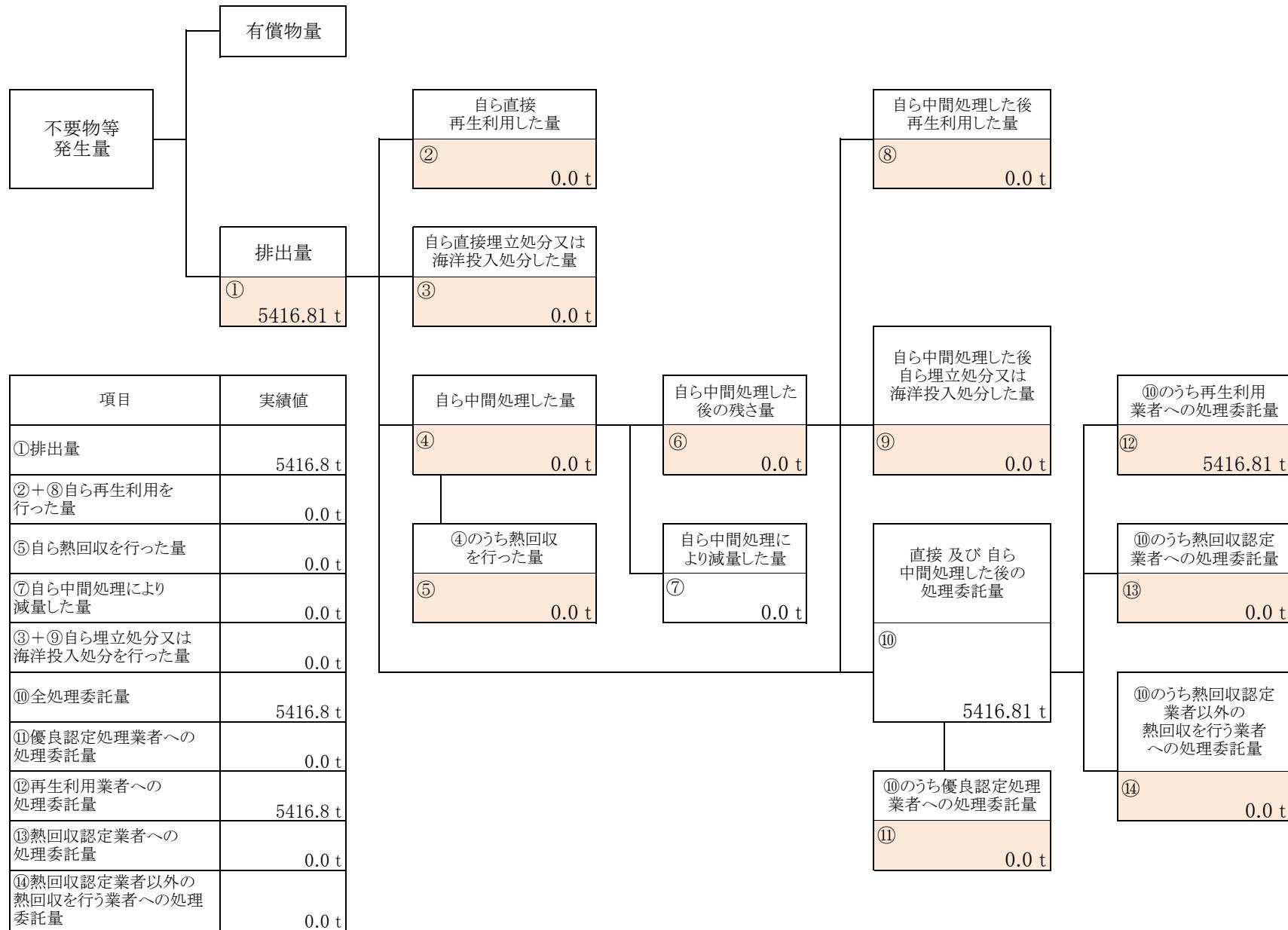
(第2面)



計画の実施状況

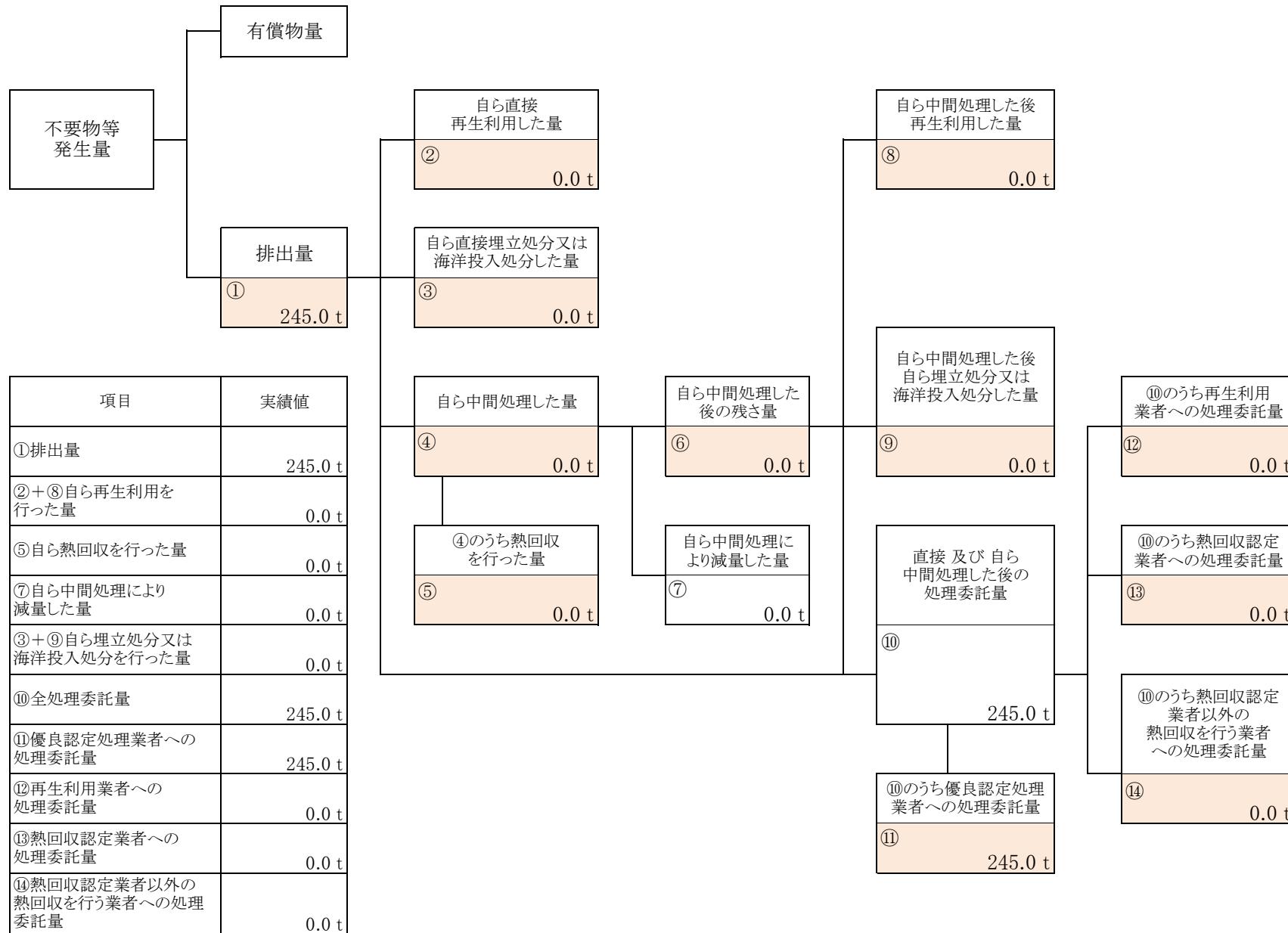
(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

(第2面)



計画の実施状況

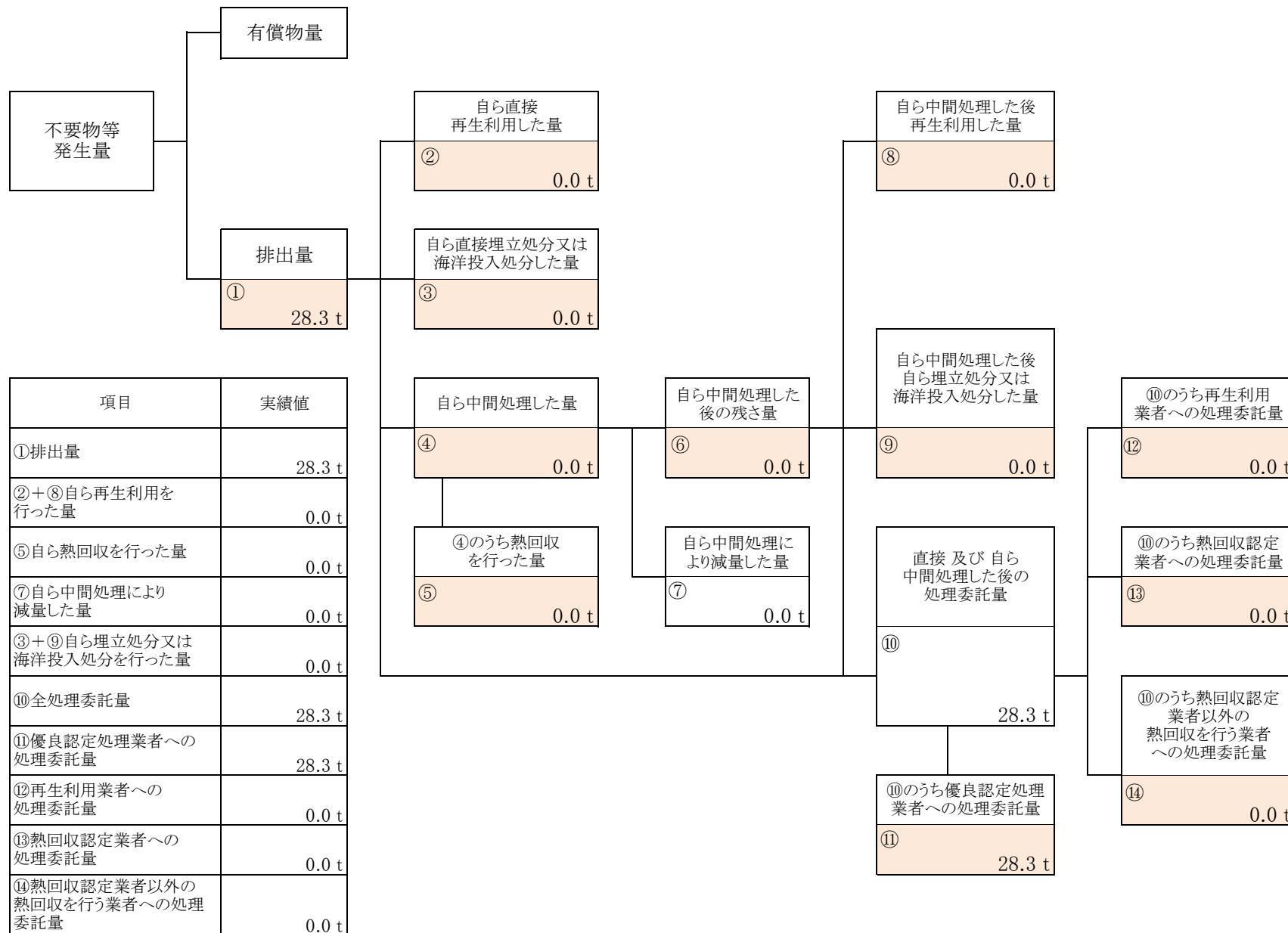
(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器くず)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混廃)

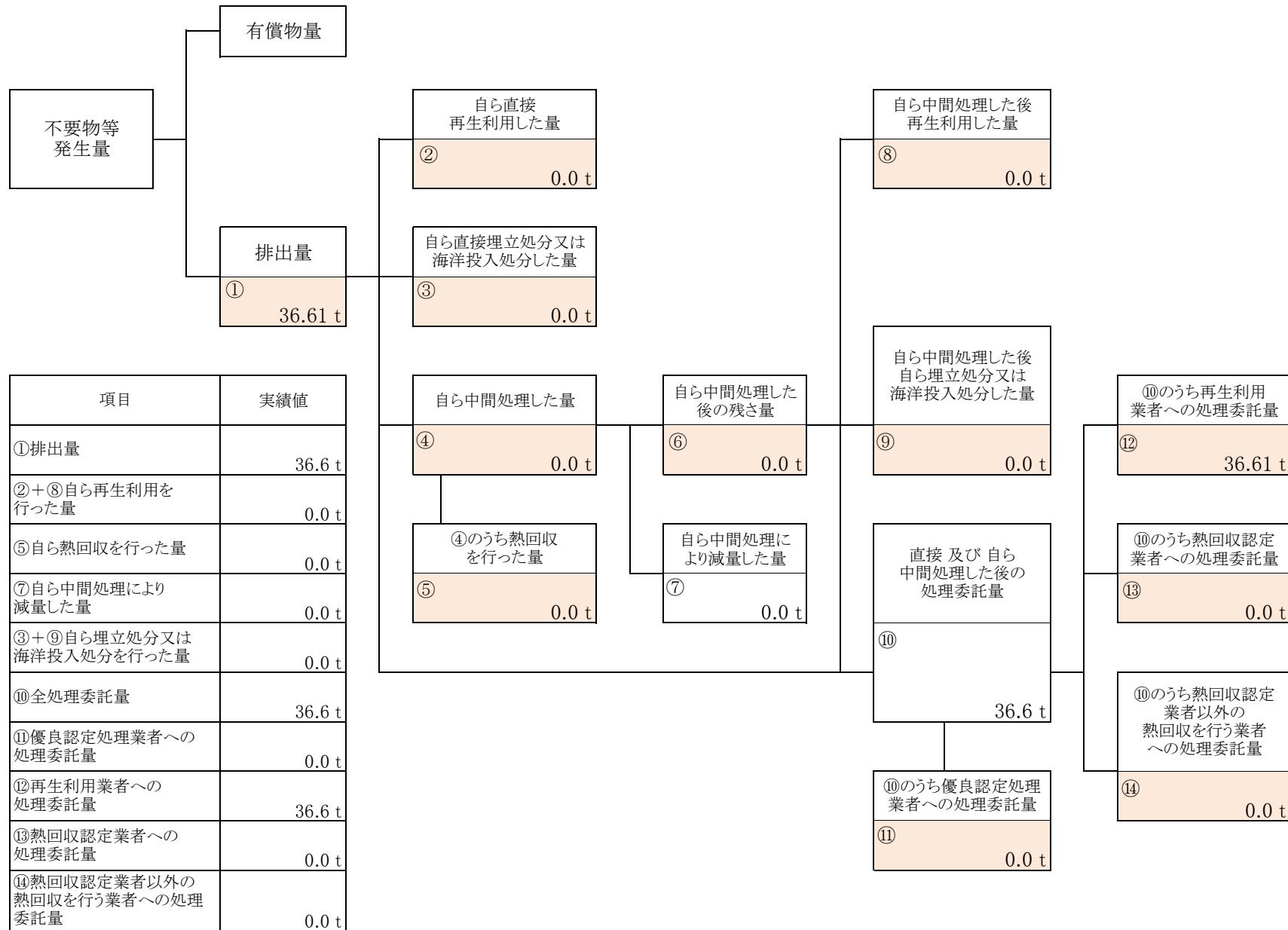


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 鉱さい)

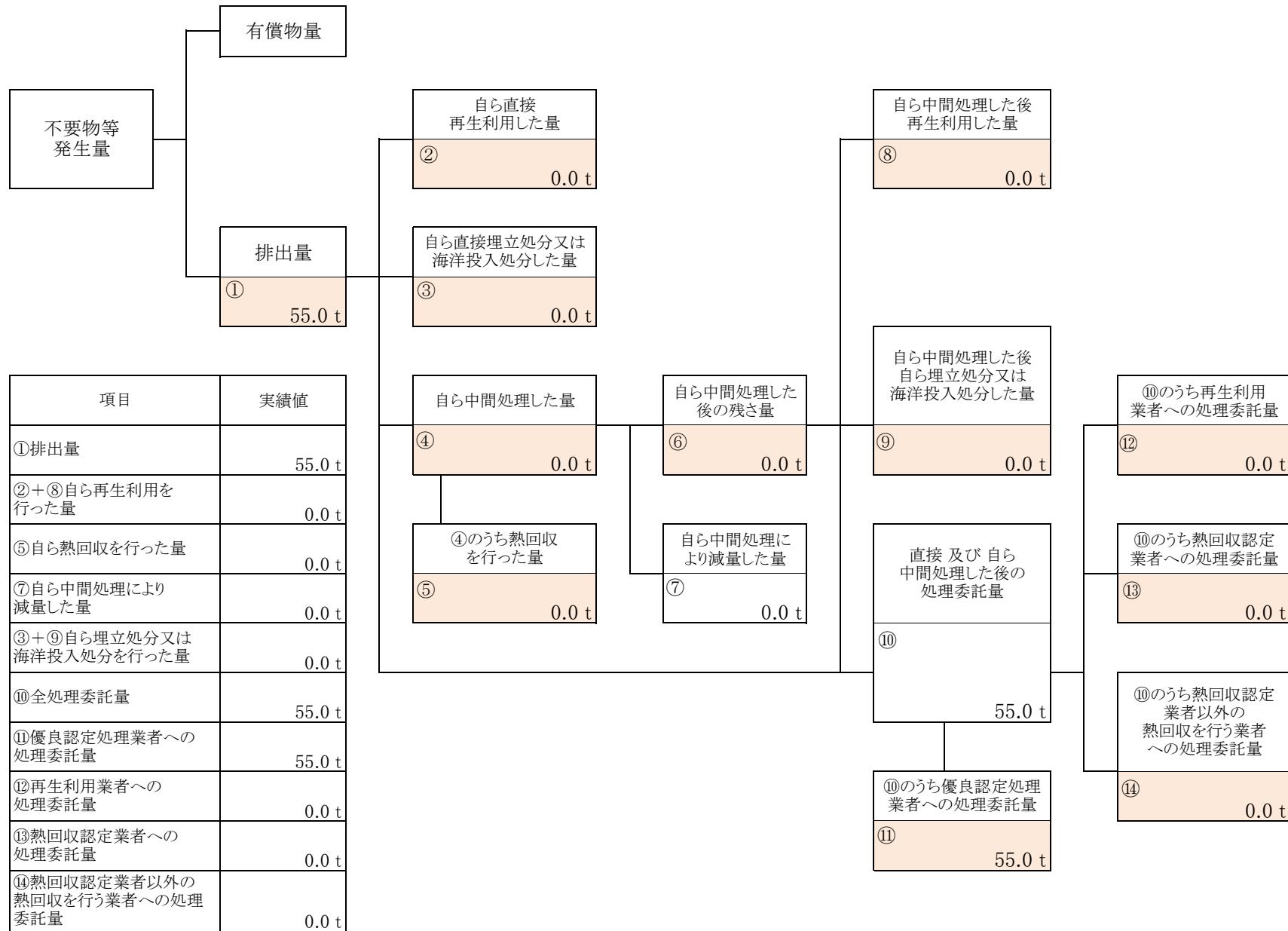
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

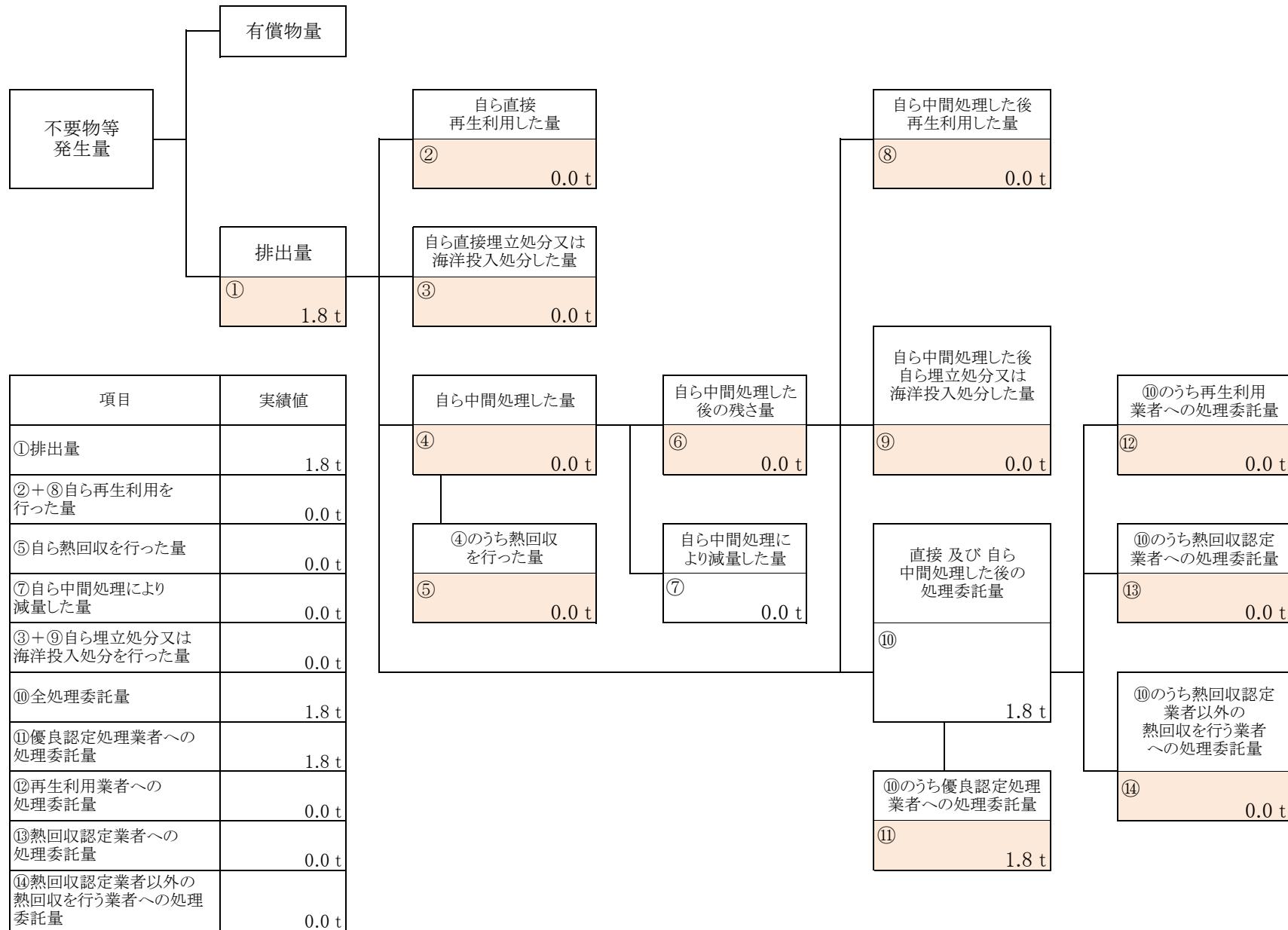
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

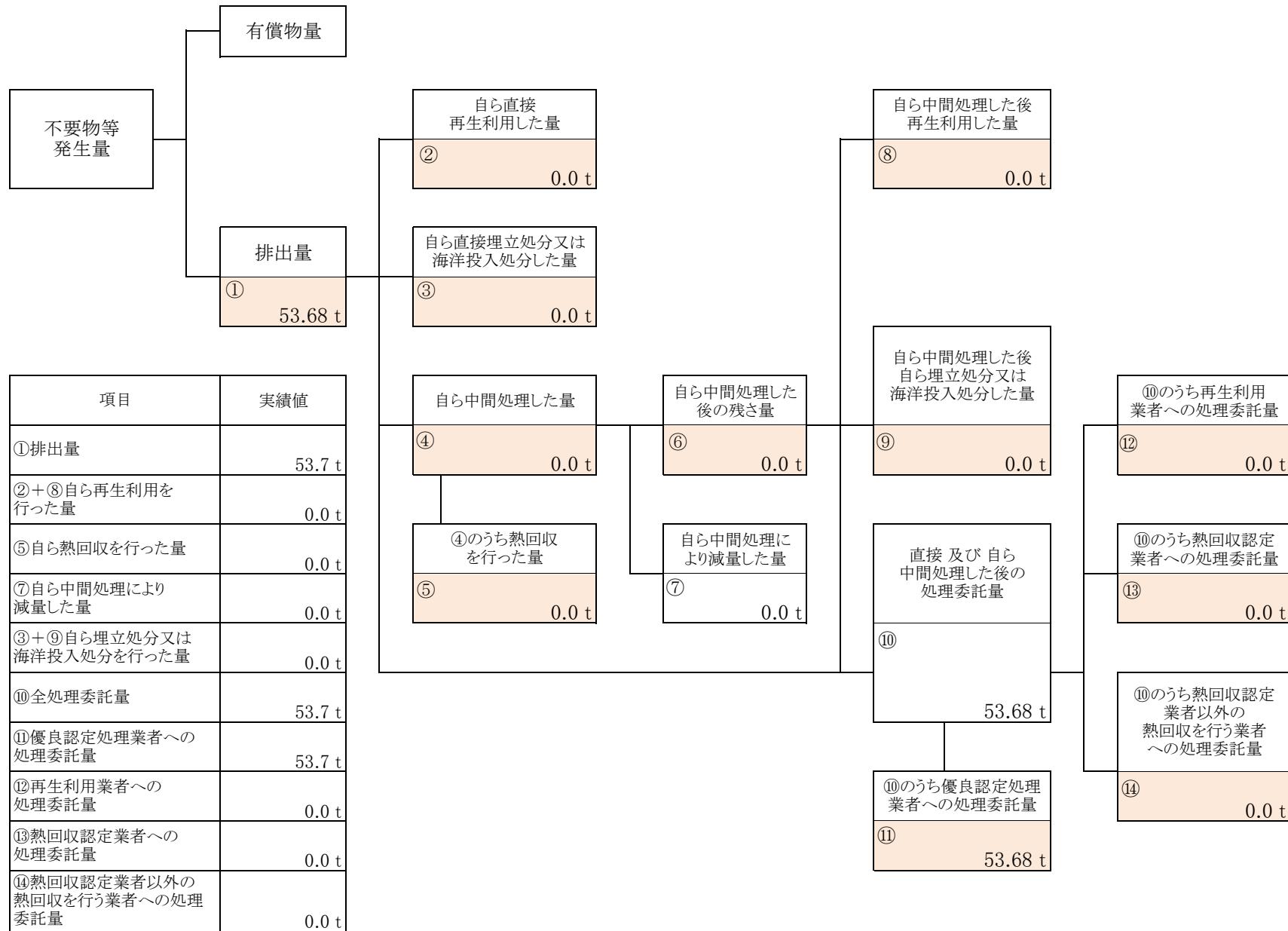
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

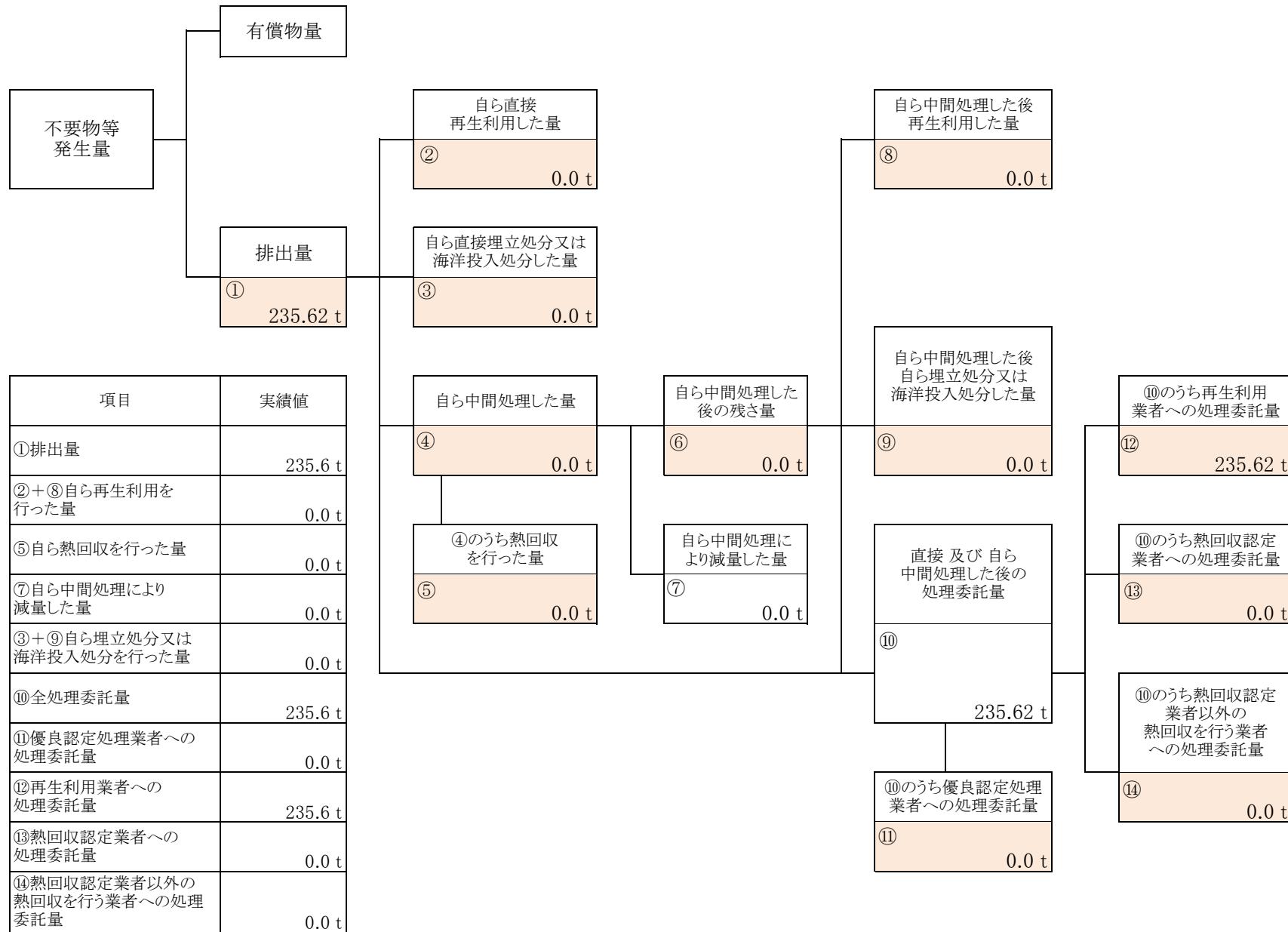
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 耐火材)

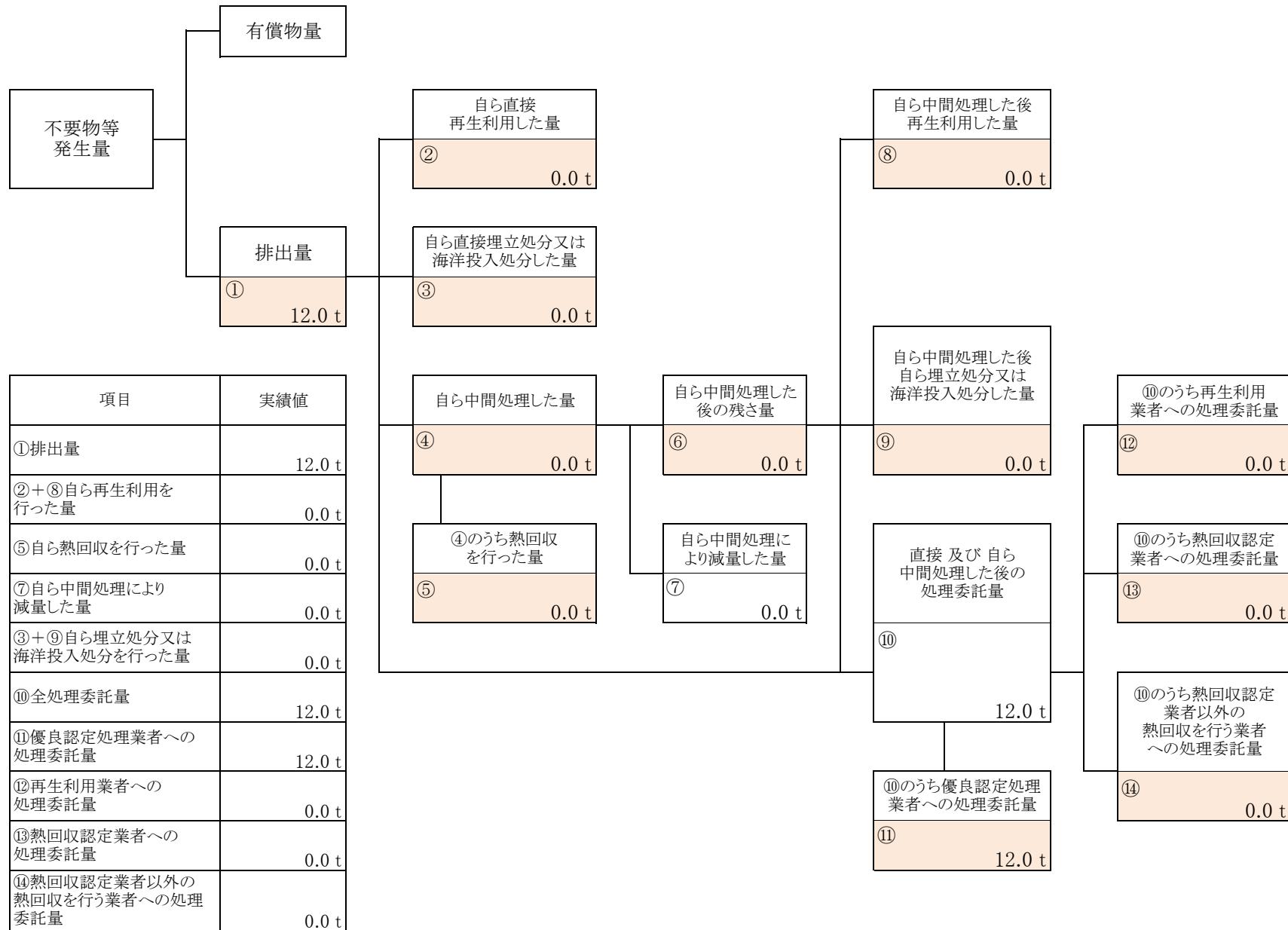
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

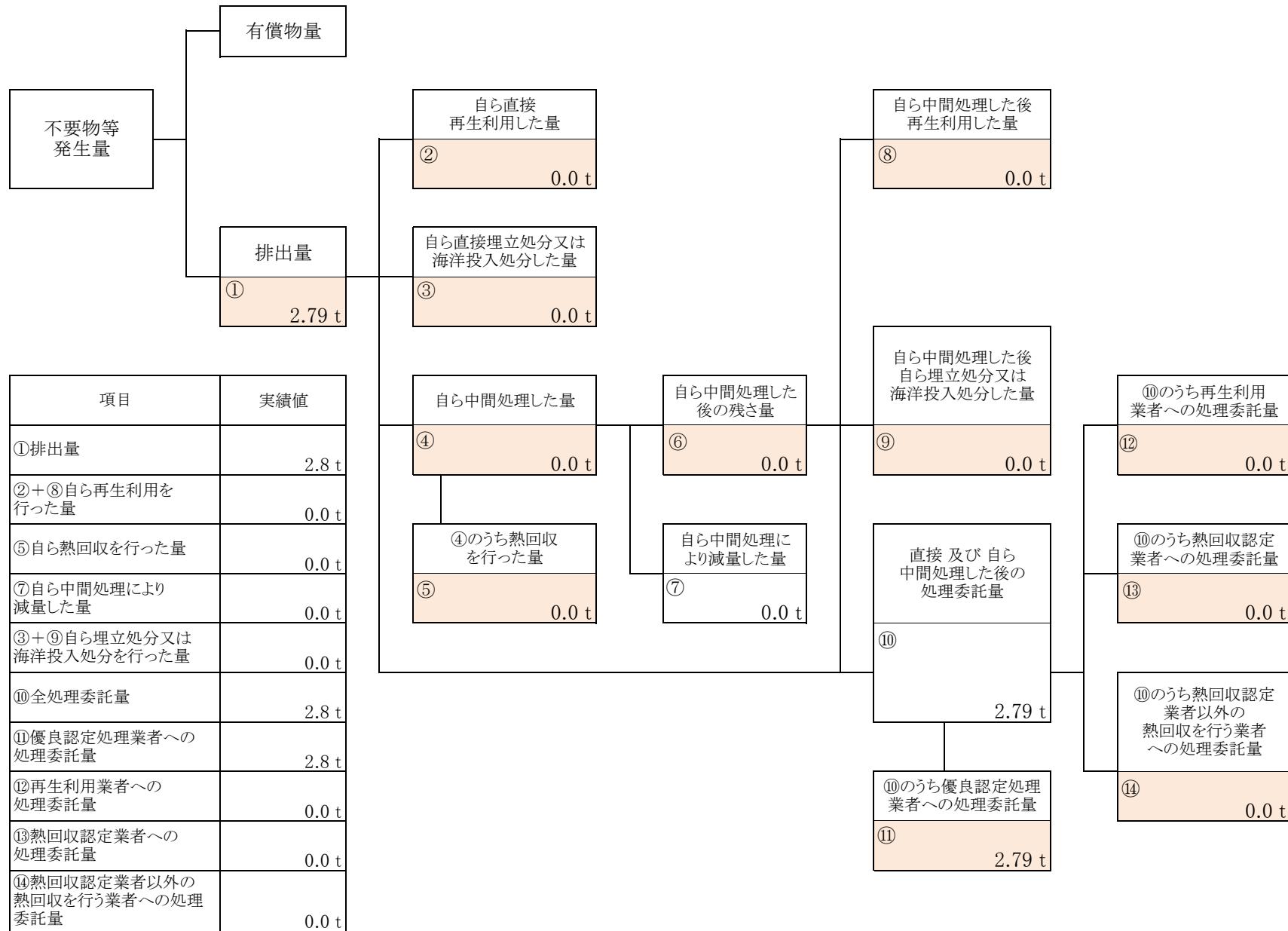
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

(第2面)

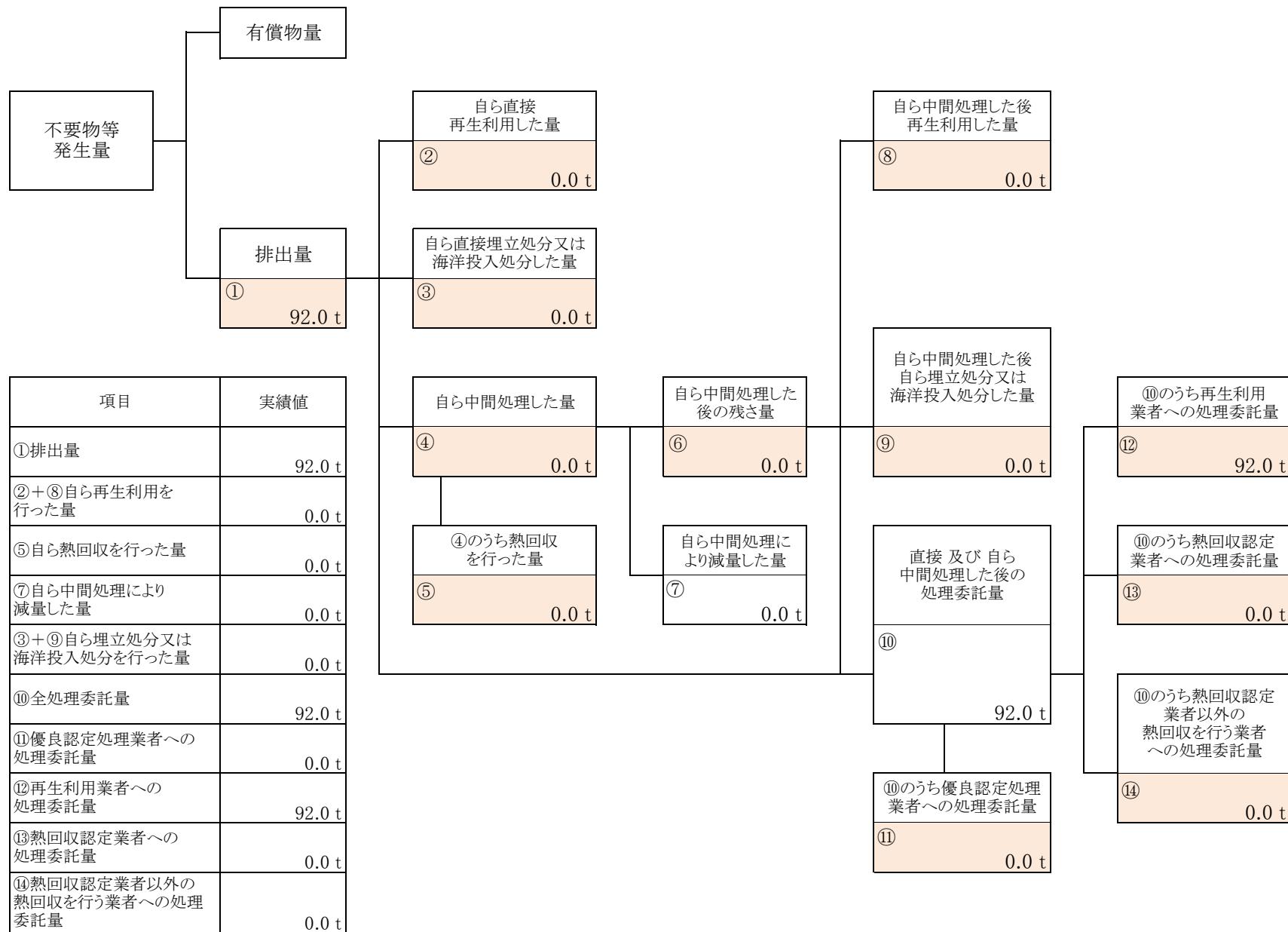


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

石綿含有廃棄物
ガラスコンクリート陶器くず

(第2面)

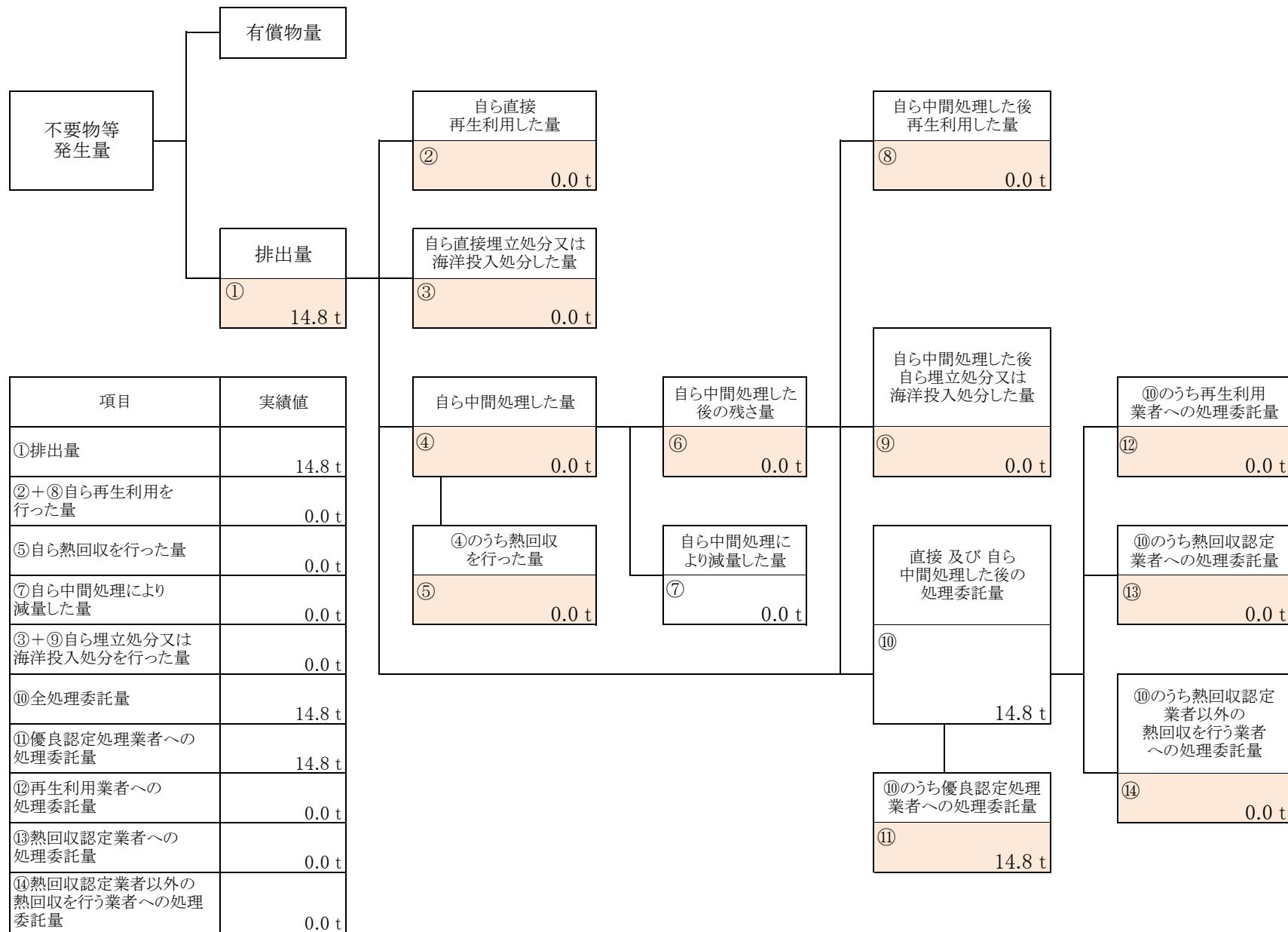


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

石綿含有廃棄物
がれき類

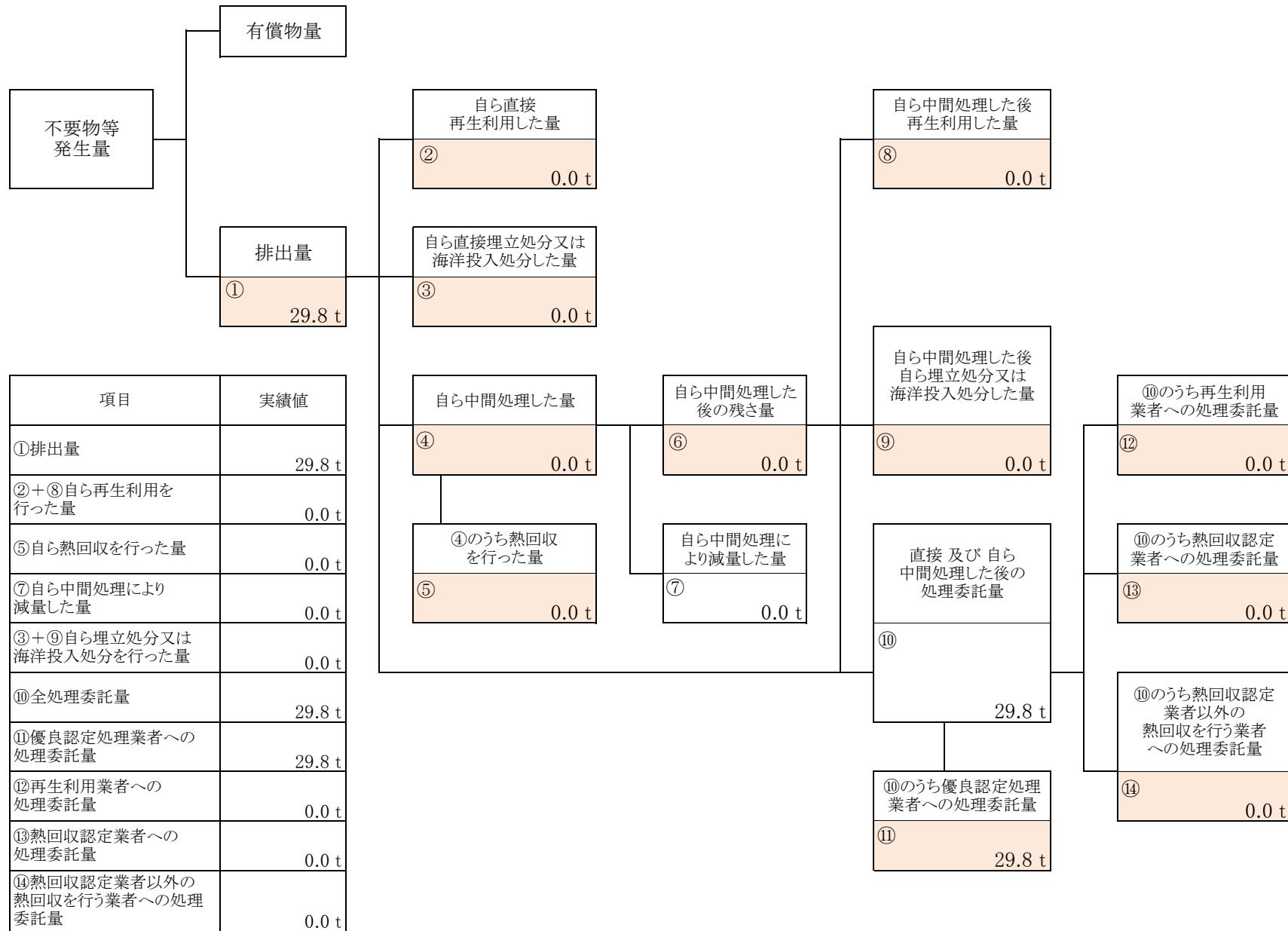
(第2面)



計画の実施状況

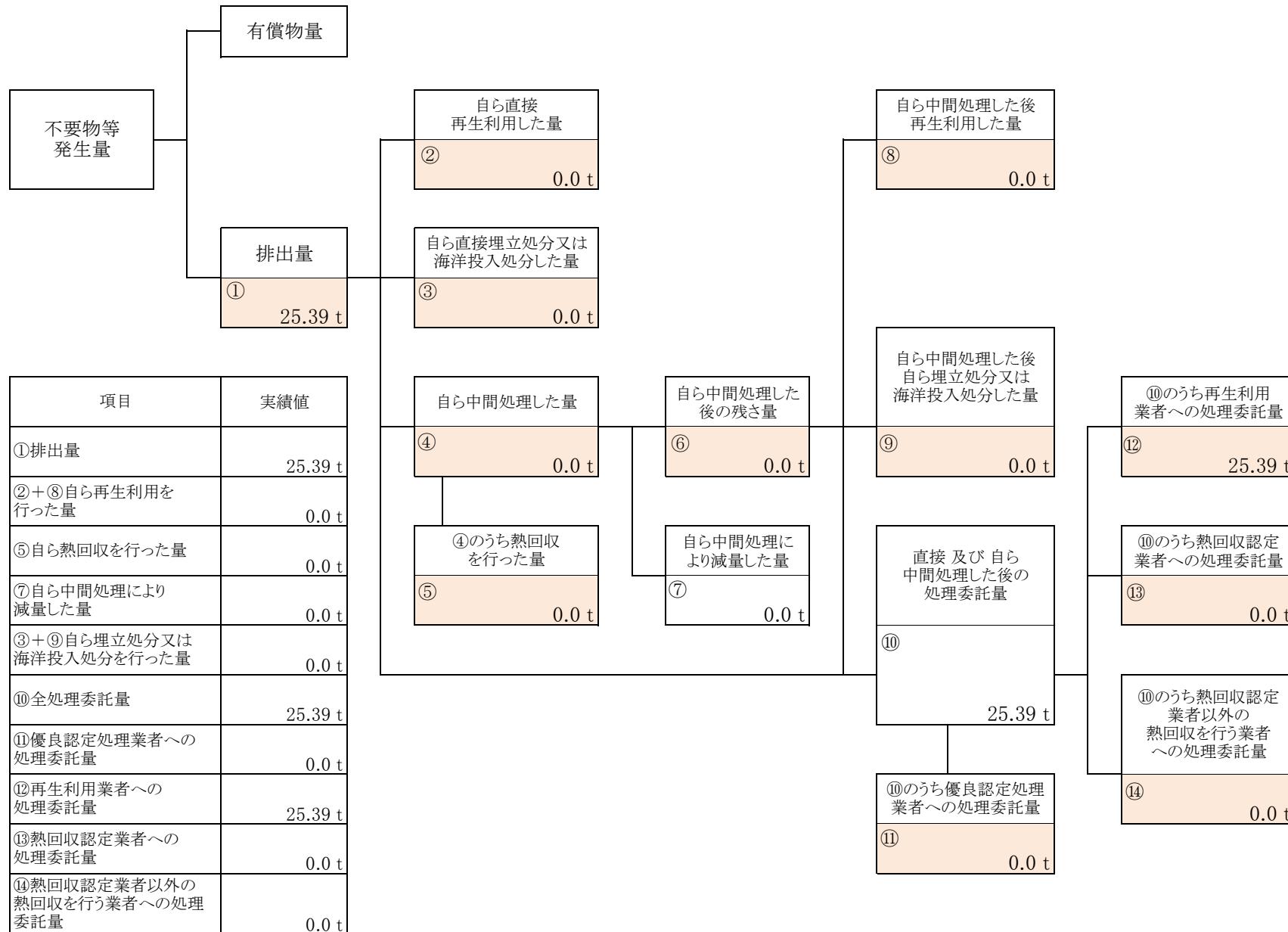
(産業廃棄物の種類: 特定有害産業廃棄物(廃石綿))

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 特定有害産業廃棄物(汚泥))

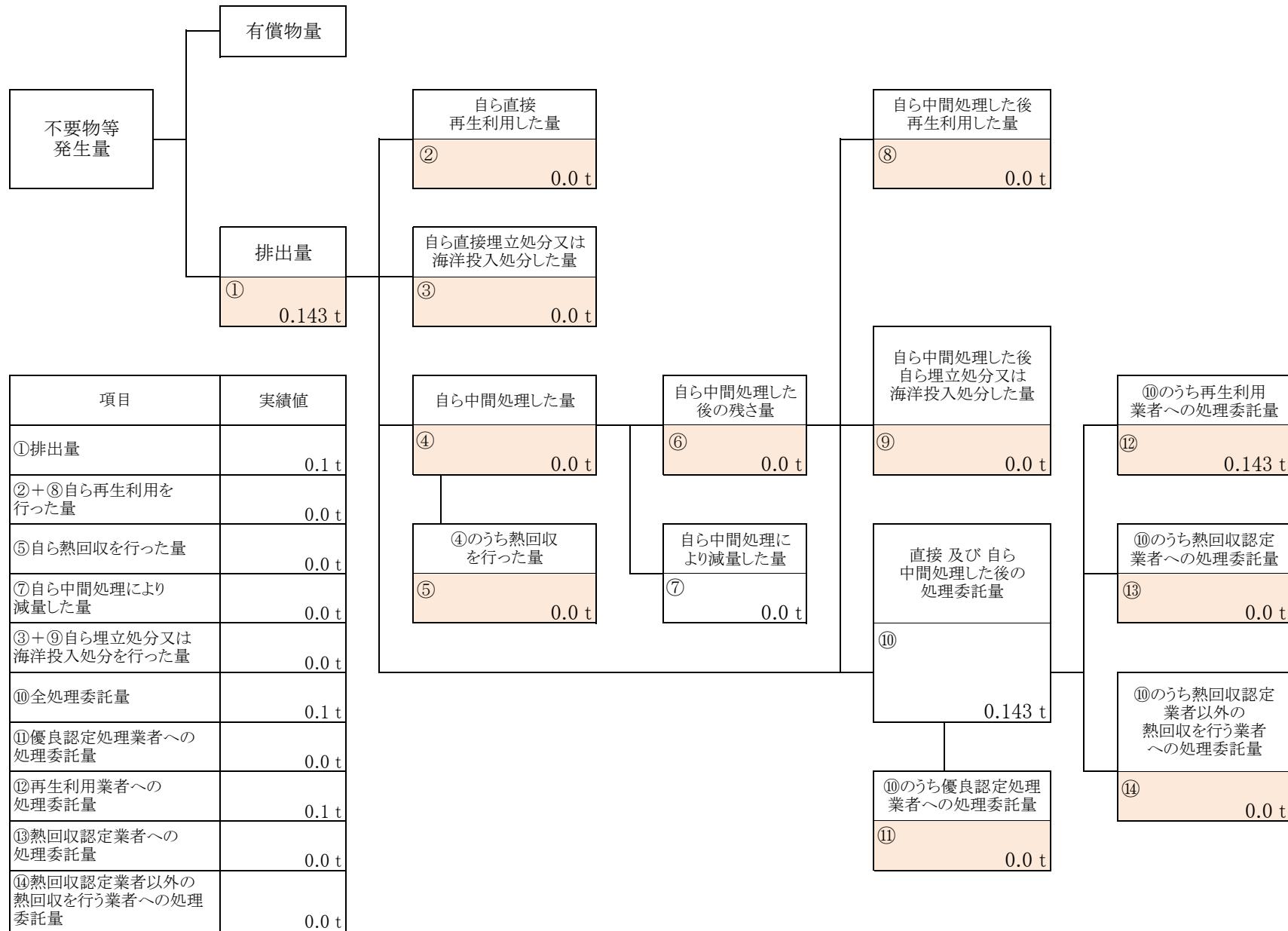


(第2面)

計画の実施状況

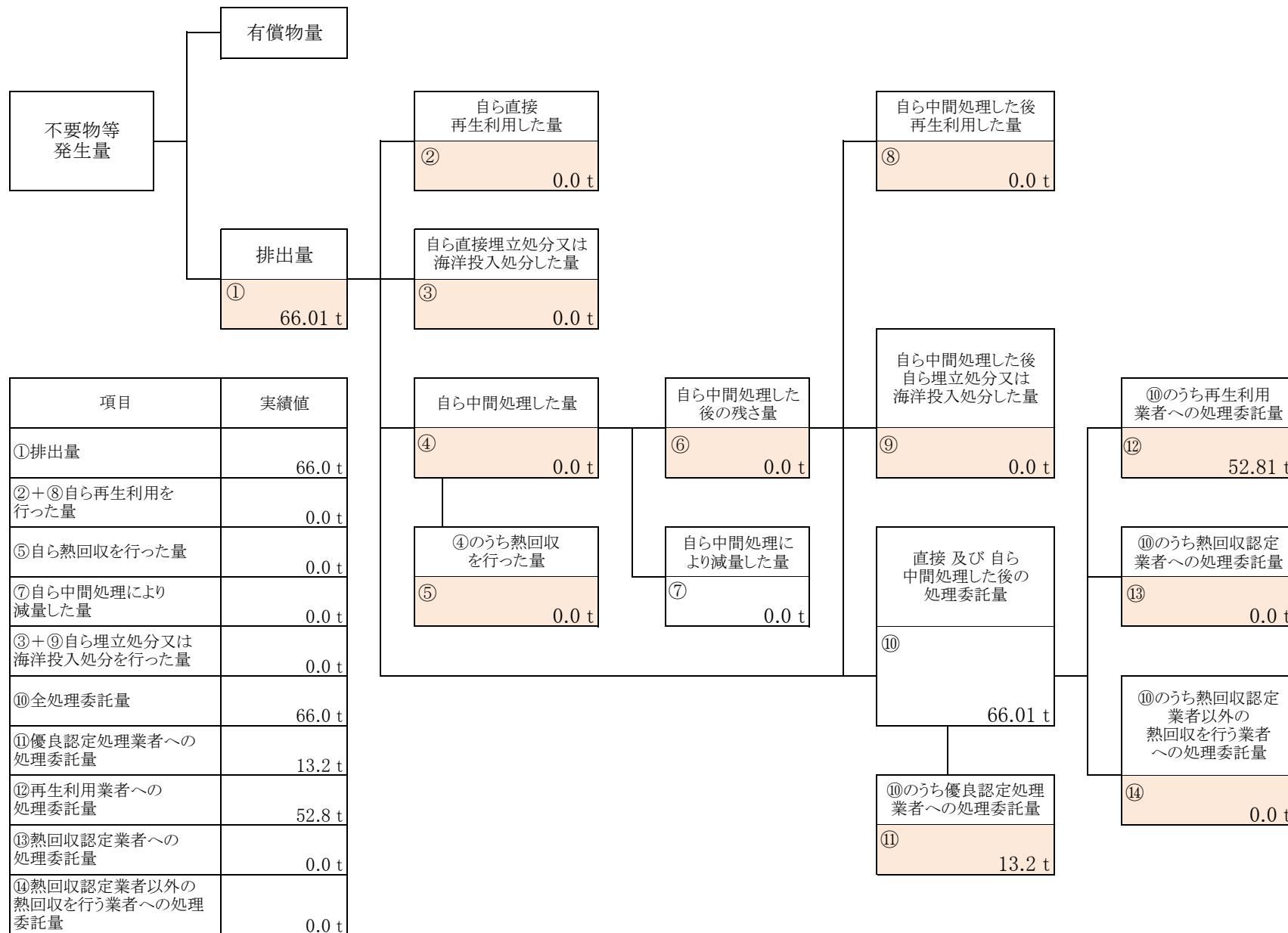
(産業廃棄物の種類: 鉛バッテリー)

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

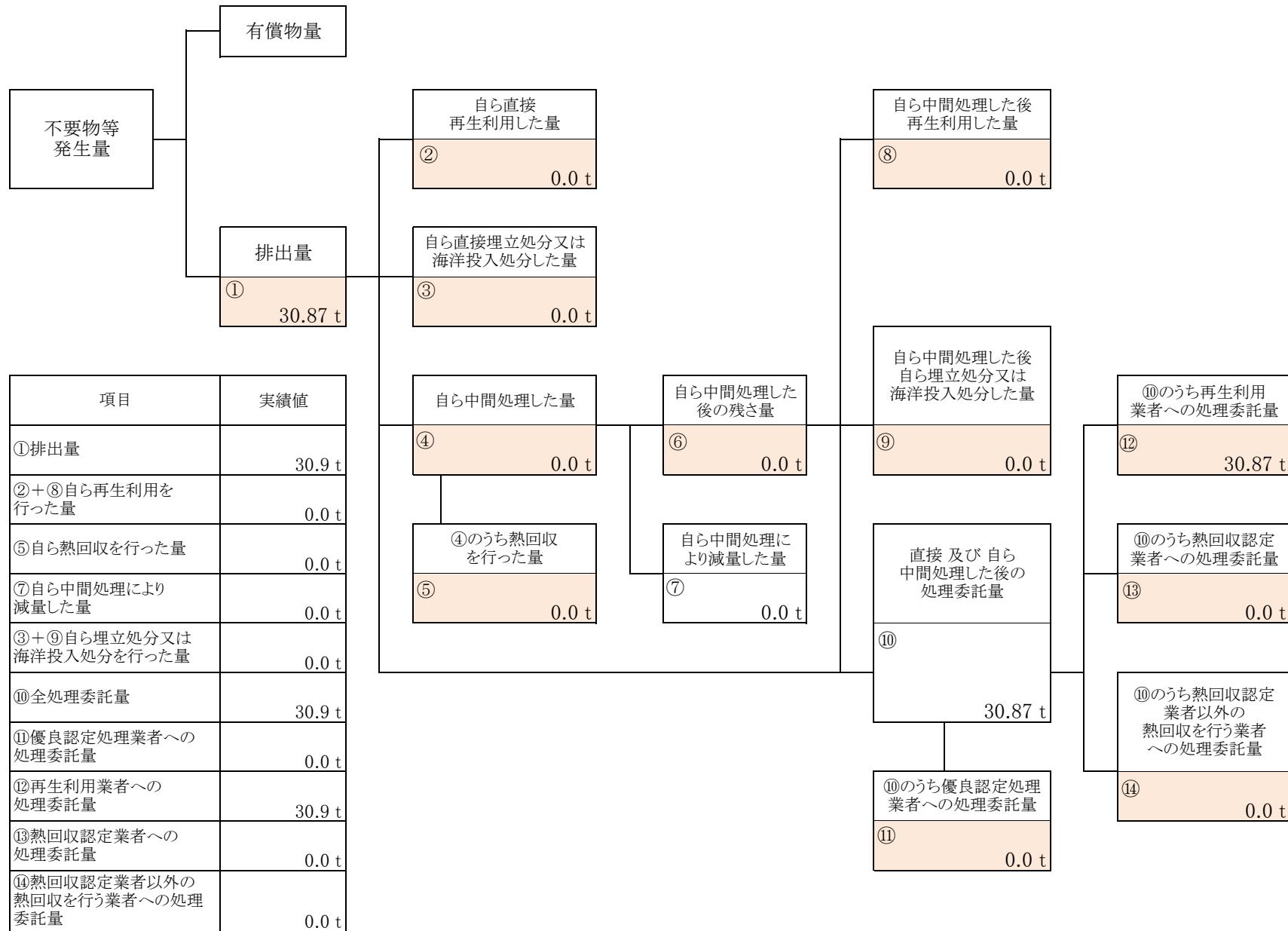


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 燃え殻)

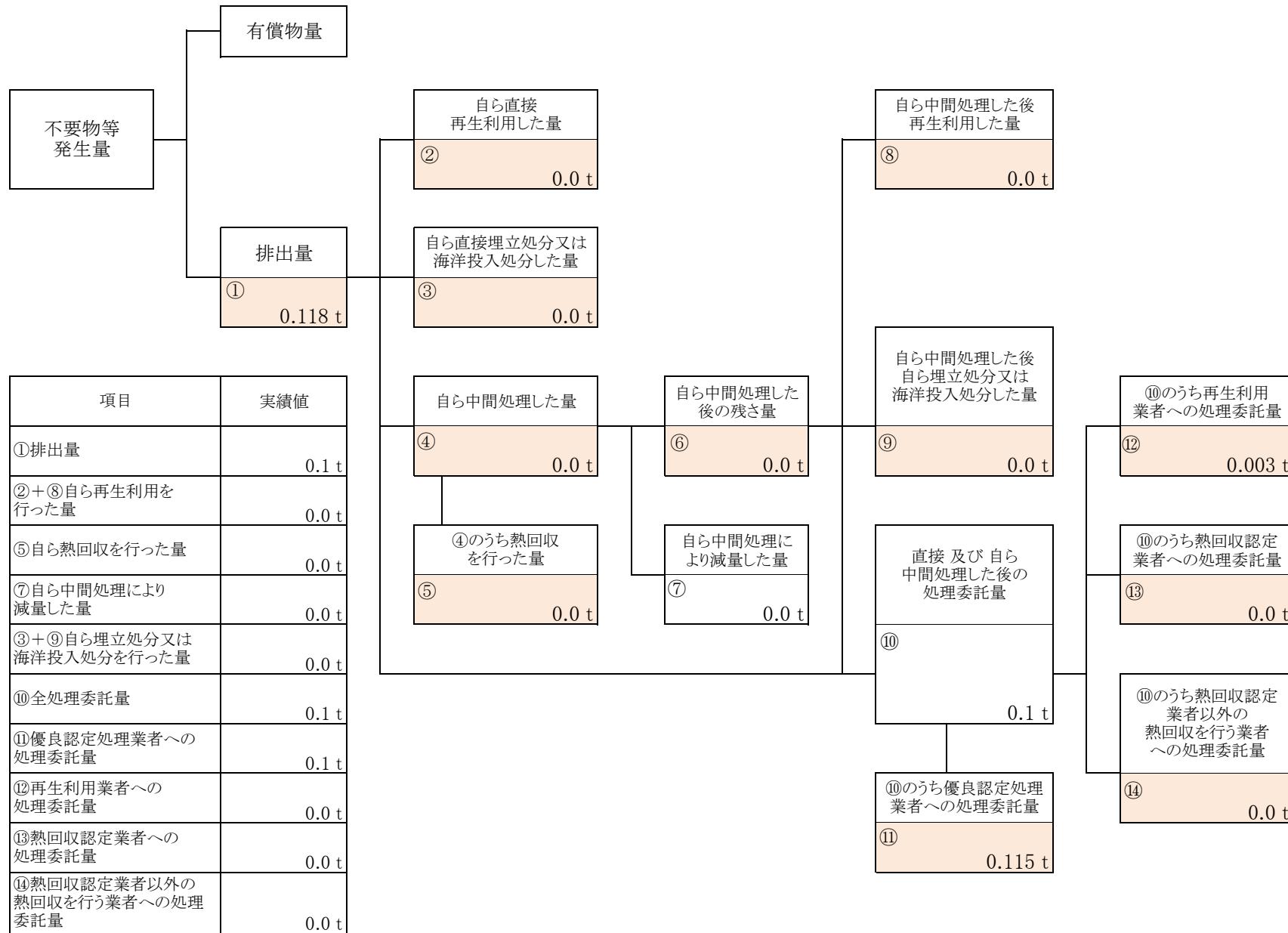
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

(第2面)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(16)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。